

平成21年度長岡京市事務事業点検(事業仕分け)結果

班 別	第2班	時 間	9:30~10:10
事業番号	11	所管部署名	青少年・スポーツ課
事業名	総合型地域スポーツクラブ推進事業		
事業仕分け結果	市が実施 内容・規模の見直し		
内 訳	(1)不要	—	
	(2)国及び府実施	—	
	(3)市実施 現行通り	—	
	(4)市実施 内容・規模見直し	3人	
	(5)市実施 民間委託	1人	
	(6)民営化(NPO、地域団体含む)	1人	
<p>【「市実施 内容・規模見直し」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な事業費の見通しと効果の予測が必要。 ・クラブ設立数の増加というアウトプットに偏重しているように感じられる。 ・地域コミュニティの再生はスポーツだけに限らない。他の事業や手法でも可能であるため、この事業の役割を明らかにすべきである。 ・10小学校区に1つずつのクラブは多いのではないか。 ・本来の目的は市民の健康増進、医療費の抑制であり、これを目標とするならば「体力テストの数値を国平均以上にする」ことを目標値にすべきである。 ・7年の補助期間が終わったら、地域に運営を任せるべき。 ・現在の目標を達成するには、今後も事業費(市補助)は増えざるを得ない。 ・方向性を見直すべき。自助、共助、公助の考え方を整理し、行政は活動の下支えをするのがよい。 ・全てのクラブにクラブハウスが必要か、費用対効果を明確にするべき。 <p>【「市実施 民間委託」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会等との活動との整理が必要である。委託先とすることもできるのではないか。 ・市民運動会の見直しが必要。 ・「ふれあい都市長岡京市民運動実践協議会事業」との統合も考えられる。 <p>【「民営化(NPO、地域団体含む)」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来「10小学校区に1つずつ」から「4中学校区に1つずつ」に移行する構想があるなら早く軌道修正すべきである。 ・本来社会体育は民間で運営すべきである。期間を区切って各クラブは完全民営化すべきである。 			

※今後この事業をどうしていくかは、仕分け結果と仕分け委員からいただいた意見を考慮したうえで、市としての最終的な判断を行います。